

MIS011-03

会場: 304

時間: 5月24日09:30-09:45

微化石層序から見た第四系下限

Base of the Quaternary System based on microfossil biostratigraphy

佐藤 時幸^{1*}

Tokiyuki Sato^{1*}

¹秋田大学工学資源学部応用地球科学教室

¹Inst. Applied Earth Sci. Akita Univ.

微化石群集解析から鮮新世／更新世境界と関連する高緯度—北極域の氷床拡大タイミングを検討した。アリューシャン海域や北極海域の石灰質ナノ化石調査結果は、2.75Maを境に多様性の高い群集から、全く産しないか、グリーンランド海域に生息する寒冷種のみ群集に変化し、高緯度海域の急激な寒冷化を示唆している。一方、これら高緯度の殆どの海域では、2.75MaでIRDが急増することから、これらの現象が極の氷床拡大によってもたらされた事を示している。このような2.75Maの変化に対し、カラブリアン基底の1.8Maでは、種の多様化が進み、高緯度海域が温暖な環境へ回復した事を示す。したがって、新第三紀／第四紀境界と関連する極域の氷床拡大は、カラブリアン基底より下位で、ジェラシアン基底に近い、2.75Maで発生したことが示唆される。

キーワード: 微化石, 第四紀, 更新世, ジェラシアン, カラブリアン, 寒冷化

Keywords: microfossil, Quaternary, Pleistocene, Gelasian, Calabrian, glaciation